

日本一子どもを産み育てやすい まちを目指して

A-4 No.1

記者発表資料
平成30年11月21日

子育て支援課

～ 待機児童の解消と継続的・安定的な運営を目指して ～ 放課後児童指導員（公設公営）の増員等を実施

■ 補正予算の概要

放課後児童健全育成室の利用を希望する方が多く、待機児童が発生している現状から、新たな放課後児童健全育成室を開室するとともに、指導員数を増員することにより待機児童を解消する。

○児童数等の推移

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指導員数	121	131	133	132	135	139	141	141
入室児童数	780	813	817	818	812	805	810	790
待機児童数	80	63	49	40	27	23	10	1

- ・ 待機児童を解消するため新たに放課後児童健全育成室を開室
水深小第3分室（H30.5） 原道小分室（H30.8） 元和小分室（H30.10）
- ・ 指導員数を20名増員
121名（H30.4.1）→141名（H30.11.1）
- ・ 入室児童数を最大38名増員
780名（H30.4.1）→818名（H30.7.1）
- ・ 待機児童数を79名解消
80名（H30.4.1）→1名（H30.11.1）

■ 補正予算額

賃金 12,306千円（補正後予算額：151,558千円）

〈補正後予算額の財源：国（34,510千円）、県（34,510千円）、
保育料（47,543千円）、市（34,995千円）〉

産後ヘルパー派遣により産婦を支援

■ 産後支援ヘルパーとは

出産して退院後3か月以内で、家族等から家事援助が受けられない方に対して、子育て支援ホームヘルパーを派遣して家事援助をし、出産後間もない妊婦のいる家庭の子育てを支援する。

■ 補正予算の概要

当初予算額を超える利用が見込まれるため、増額補正する。

128時間：10世帯（H30.4.1）→ 337時間：18世帯名（H30年度末）

■ 補正予算額

委託料 405千円（補正後予算額：687千円）

〈補正後予算額の財源：市（487千円）、利用料（200千円）〉

子育て短期預かりにより養育困難時の子育てを支援

■ 子育て短期預かり事業とは

保護者の病気、育児疲れ、冠婚葬祭等の事由によって、養育が一時的に困難となる児童を児童養護施設で預かり、養育困難時の子育てを支援する。

■ 補正予算の概要

当初予算額を超える利用が見込まれるため、増額補正する。

ショートステイ 127日（H30.4.1）→ 192日（H30年度末）

■ 補正予算額

委託料 332千円（補正後予算額：1,244千円）

〈補正後予算額の財源：国（356千円）、県（356千円）、市（532千円）〉

三世代同居を支援し移住を促進

■ 三世代ふれあい家族応援事業とは

3世代同居家族の市内への定住化を促進し、「①子どもが安心して産み育てられる」「②高齢者が安心して暮らせる」環境を推進するため、3世代同居を目的とした住宅の取得や新築、リフォームに係る費用の一部を助成する。

○補助金概要

交付対象費用	①同居するためのリフォーム工事に要した費用 ②同居するための新築又は住宅の購入に要した費用
補助金額	①市内事業者との契約：30万円 ②その他：20万円

○平成30年度 補助金の交付状況（11/1現在）

補助金交付件数	10件（市内3件、市外7件）
補助金交付額	2,300,000円（市内900,000円、市外1,400,000円）

■ 補正予算の概要

当初予算を超える利用が見込まれるため増額補正する。

10件（H30.4.1）→ 19件（H30年度末）

■ 補正予算額

補助金 1,800千円（補正後予算額 4,300千円）

〈補正後予算額の財源：市（4,300千円）〉